## 草津市のごみ状況

(令和6年度版)



# 循環型社会を作るために 3R(スリーアール)の取組を進めましょう!

**Reduce (リデュース) / 発生抑制** 物を大切に使おう。 ごみを減らそう。

**Reuse** (リユース) / 再使用 繰り返し使おう。

草津市 環境経済部 資源循環推進課

## 目次

1.	草津市のごみ処理の経緯	P 2∼
2.	草津市の廃棄物行政組織	P 4
3.	草津市のごみ処理の推移	P 5
4.	ごみ減量・排出抑制事業対策	P 6∼
5.	指定ごみ袋、処理料金等	P 7∼
6.	環境美化推進対策	P8∼
7.	ごみ処理予算	P 9
8.	ごみ処理施設	P 1 0
9.	ごみ問題を考える草津市民会議	P 1 0
10.	ごみ減量、リサイクル実績	P 1 1
11.	クリーンセンター年間報告	P 1 2 ~

## 1 草津市のごみ処理の経緯

年	概 要
昭和35年	ため池を利用した埋立てを開始。
昭和40年 ~昭和47年	一部事務組合がコンポスト方式により生ごみ処理を実施。
昭和48年	プラスチックごみの分別収集を開始。重油還元方式によるプラスチックごみの処理を実施。
昭和51年	清掃工場(クリーンセンター)建設計画の具体化に伴い、プラスチック溶融固化 法の有効性に着目し、溶融固化方式により、プラスチックごみを成型品(植木鉢、 プランター、広幅板)に再生。
昭和52年	清掃工場各施設の稼動に伴い、ごみの5種類分別収集を開始し、ごみの減量と再 資源化についての本格的な取り組みを開始。
昭和57年	週1回30品の予約収集制による粗大ごみの特別収集を開始。
昭和60年	市内の公共施設に回収ボックスを設置し、乾電池の拠点回収を開始。
平成2年	市民、行政、事業者が協力して、ごみの減量、リサイクルの推進を図るため、「ご み問題を考える草津市民会議」が発足。現在に至るまで、ごみの減量化と再資源化 の推進に取り組んでいる。
平成5年	焼却炉改修工事および破砕ごみ処理施設の整備に着手。
平成8年	・破砕ごみ処理施設完成 ・市内全域で予約制による月2回の粗大ごみの定期戸別収集を開始。
平成9年	・焼却炉改修工事完成。1日の処理能力が90tから150tに向上。 ・容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(以下、「容器包装リ サイクル法」という。)の趣旨に基づき、ペットボトルの分別収集を実施。
平成13年	・特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の施行に伴い、製造業者による 再商品化等が行われる特定家庭用機器であるテレビ(ブラウン管式)、冷蔵庫・冷 凍庫、洗濯機、エアコンを従来の粗大ごみの対象から除外。 ・蛍光管をより安全に処理するため、市役所と各市民センター(現 地域まちづくり センター)に回収ボックスを設置し、拠点回収を開始。 ・ごみの分別徹底を図る目的から、普通ごみ類ごみ袋を従来の紙袋から半透明のポ リエチレン袋へ変更。
平成15年	<ul><li>・ペットボトルの処理について、安定した資源化処理ルート確保のため、容器包装 リサイクル法に基づく指定法人の(公財)日本容器包装リサイクル協会に委託。</li><li>・資源の有効な利用の促進に関する法律に定められている指定再資源化製品である パソコンについては、製造業者等が自主回収・再資源化することになったため、 粗大ごみ・小型破砕ごみの対象から除外。</li></ul>
平成16年	大阪、京都のベッドタウン化や大学の誘致による人口の増加に伴い、ごみ量の増加がみられるため、資源回収奨励金交付事業、生ごみ処理容器購入費補助事業を 充実するなど、ごみの減量対策を進める。
平成17年	資源化率の向上を図るため容器包装リサイクル法の対象となる「その他プラスチック」を圧縮・梱包し、(公財) 日本容器包装リサイクル協会に引渡し、広域での資源化を開始。このことにより、昭和51年以来続けていたプラスチックの溶解固化による再生は終了。

	・ごみの不法投棄対策の強化を図るため、市の専従職員が不法投棄多発箇所を中心
	に、市内を巡回する「安全安心パトロール」を実施し、不法投棄の防止および
平成21年	地域の環境の保全に努める。
	・徹底したごみ分別を行うとともに、更なる資源化の推進を図ることを目的に、ご
	み集積所を巡回し啓発指導を行う。
平成22年	クリーンセンターの老朽化による施設の更新計画に伴い、新施設の稼動等による
<u> </u>	周辺環境への影響を調査するため、環境影響評価に着手。
	・更なるごみの資源化、減量化の推進を図るため、①古紙類の分別区分を設定、②
平成23年	プラスチックごみは、容器包装リサイクル法対象物のみへと変更等、ごみの分別
十成23年	区分を10種類から11種類にする。
	・ごみ袋の配付方法を引換券制へと変更。
	・平成22年から継続して実施してきた、(新)クリーンセンターの更新計画に伴う
平成25年	環境影響評価の結果について取りまとめた環境影響評価書を公表。
	・事業系廃棄物減量推進員の事業所への直接訪問を開始
平成26年	クリーンセンター更新整備事業の設計・施工業者を決定。
平成27年	クリーンセンター更新整備事業の工事着手
平成28年	ごみ分別アプリ配信開始(無料)
	・クリーンセンター竣工・稼働
平成30年	・クリーンセンター内啓発スペースにくさつエコスタイルプラザを新設。
	・小型家電のリサイクルを開始
令和2年	草津市処分場適正閉鎖
令和3年	クリーンセンターへのごみ直接特込の事前申請制度導入
令和4年	ごみ分別アプリのリニューアル
	・ペットボトルの処理について、従来の容器包装リサイクル協会ルートから、二酸
	化炭素の排出量が少ない水平リサイクルルートへ変更。
令和5年	・ごみの排出量に応じた負担の公平化、ごみの排出抑制や再生利用を目的に、焼却
	ごみ袋の取扱いを変更。
	・古紙類の収集日を統合。(3種別ごとに月1回から同一日として月2回へ変更。)

## 2 草津市の廃棄物行政組織(令和6年4月1日現在)

	資源循環推進課	〇一般廃棄物の処理に関すること。
	資源循環推進課係	○一般廃棄物に係る減量、資源化および啓発に関す
	(14名)	ること。
	   (内6名 会計年度任用職員)	〇一般廃棄物処理業に関すること。
	 	〇一般廃棄物処理計画に関すること。
		〇ごみ集積所に関すること。
環境経済部 —	クリーンセンター	〇不法投棄対策に関すること。
SK-SMIETINI HP	(6名)	〇災害廃棄物に関すること。
	(内2名 会計年度任用職員)	〇公衆便所に関すること。
		〇湖南広域行政組合との連絡調整に関すること
		(環境衛生センターに関する事務に限る。)。
		○最終処分場の整備に関すること。
		O市指定ごみ袋に関すること。
		〇一般廃棄物処理施設に関すること(くさつエコス
		タイルプラザの運営に関することは除く。)。
		○クリーンセンターの管理運営に関すること。
	環境政策課	○くさつエコスタイルプラザの運営に関すること。
	環境政策係	O市指定ごみ袋およびボランティア清掃用ごみ袋の
	(13名)	本庁窓口での交付に関すること。
	(内7名 会計年度任用職員)	○小動物の死骸に関すること。

## 3 草津市のごみ処理の推移

## (1) ごみ搬入量

年 度	焼却ごみ (普通ごみ)	プ ラスチック製 <del>容器</del> (プ ラスチック)	<b>ペットボ</b> トル	空き缶	飲・食料用 ガラスびん (びん)	その他	粗大ごみ	古紙	合 計
平成 25 年度	33, 908	1, 121	280	243	849	722	342	1, 330	38, 795
平成26年度	33, 420	1, 071	270	229	837	749	343	1, 291	38, 210
平成 27 年度	32, 998	1, 034	267	229	830	856	352	1, 307	37, 873
平成 28 年度	32, 640	993	272	227	799	793	362	1, 256	37, 342
平成 29 年度	33, 049	996	272	224	777	834	396	1, 154	37, 702
平成30年度	33, 456	990	293	231	713	1, 038	791	1, 116	38, 628
令和元年度	33, 608	1, 005	301	232	686	1,086	1, 123	1, 087	39, 128
令和2年度	32, 706	1, 047	313	253	737	1, 218	1, 244	1, 226	38, 744
令和3年度	32, 896	1, 037	329	248	717	1,062	1,078	1, 253	38, 620
令和4年度	32, 829	1, 015	339	238	694	895	939	1, 233	38, 182
令和5年度	31, 669	1, 024	334	229	669	867	965	1, 353	37, 110

(単位: t)

#### (2) 1 人および 1 世帯あたりの 1 日のごみ量

(2) 1) (666) 1 2 (665) 2 (725) 2						
年 度	年間ごみ量	人口	1人・1日	世帯数	1世帯・1日	年間ごみ処理費
	(t)	$\otimes$	あたり(g)	(世帯)	あたり(g)	(千円)
平成 25 年度	43, 346	135, 456	877	62, 064	1, 913	1, 052, 212
平成26年度	42, 576	137, 170	850	63, 042	1, 850	1, 073, 237
平成 27 年度	42, 019	137, 247	836	61, 581	1,864	1, 107, 238
平成 28 年度	41, 116	138, 464	814	62, 351	1, 807	1, 153, 436
平成 29 年度	41, 295	139, 822	809	62, 996	1, 796	988, 617
平成30年度	42, 029	140, 927	817	63, 524	1, 813	1, 165, 847
令和元年度	42, 325	141, 928	815	64, 103	1,804	1, 180, 905
令和2年度	41, 330	143, 913	787	68, 458	1, 654	1, 184, 717
令和3年度	41, 086	145, 352	774	69, 080	1, 629	1, 188, 694
令和4年度	40, 320	146, 227	755	69, 659	1, 586	1, 197, 485
令和5年度	39, 124	147, 651	724	70, 477	1, 517	1, 263, 614

※年間ごみ量は、町内会等の各種団体が実施する資源回収活動による紙類、繊維類の回収量を含む。 (資源回収活動の実績は11ページに記載)

※人口は、滋賀県毎月人口推計調査の各年10月1日現在人口

※1人・1日あたりの1日のごみ量=年間ごみ量÷人口÷365または366×1,000,000

※1世帯・1日あたりの1日のごみ量=年間ごみ量÷世帯数÷365または366×1,000,000

※年間ごみ処理費は、投資的経費、人件費を除く。

<sup>※「</sup>その他」は、破砕(小型破砕)、陶器・ガラス(不燃物)、乾電池、蛍光管の4種類

#### 4 ごみ減量・排出抑制事業対策

#### (1) ごみの11種類分別の実施

焼却ごみ類、古紙類、プラスチック製容器類、ペットボトル類、空き缶類、飲・食料用ガラスびん類、破砕ごみ類、陶器・ガラス類、乾電池、蛍光管、粗大ごみに分別し、回収することにより、ごみの減量と資源の有効利用に努めています。また、分別の啓発として、「ごみ分別ブック」や「雑誌・雑紙分別辞典」の発行、「ごみ分別アプリ」の運用等を行っています。

#### (2) 指定袋制の実施

焼却ごみ類、プラスチック製容器類、ペットボトル類について、市指定のごみ袋を使用し、 分別の徹底と排出抑制を図っています。

#### (3) 資源回収活動への支援

紙類や古着は、資源として再利用できることから、資源回収活動を行う町内会等の各種市民団体に対し、家庭から排出される段ボール、新聞紙、雑誌等の紙類および古着、布切れ等の繊維類および小規模事業者が排出する紙類を対象として奨励金を交付しています。

#### (4) 生ごみ処理容器購入者への補助

生ごみは、堆肥化することにより、有効な土壌改良剤になり、ごみの減量にもつながること から、生ごみ処理容器購入者へ補助金を交付しています。

#### (5) 段ボールコンポストの実践普及啓発

家庭から出る生ごみの堆肥化によるごみ減量を促進するため、家庭で手軽に取り組める段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化を推進するにあたり、段ボールコンポストの普及拡大と指導者の育成に取り組んでいます。

#### (6) 事業所へのごみの分別、減量指導

事業系ごみの減量化、資源化を目指し、前年度に月平均2トン以上の一般廃棄物を市の処理 施設に搬入された事業所を対象に、一般廃棄物減量計画の作成と減量への取組の指導を行って います。

#### (7) 粗大ごみの有効活用

粗大ごみは、できる限り下取りに出すか、フリーマーケットやリユースショップの活用など リユースに努めるよう呼びかけるとともに、粗大ごみとして排出されたもののうち、再利用で きるものについては、官公庁ネットオークションに出品しています。

#### (8) 持込事前申請制度

クリーンセンターへのごみの直接特込量を一定量に抑えるため、事前申請を必要とする制度 により、排出抑制や安全で安定的なごみ処理を図っています。

#### (9) 転入者窓口指導

転入者には、転入手続時に「ごみ分別ブック」等を配付し、分別の啓発を行います。

#### (10)買い物袋持参運動の展開

レジ袋の使用自粛をPRし、プラスチックごみの減量を呼びかけるため、関係団体等ととも に買い物袋特参運動を推進しています。

#### (11) 簡易包装の推進

包装資材がごみの増加原因の一つとなっていることから、販売店に対し簡易包装の推進を呼びかけます。

#### (12) 食品ロスの削減

まだ食べられるのに廃棄される、いわゆる食品ロスの削減に向けて、啓発を行います。

#### (13) クリーンセンターにおける啓発等

ごみの処理および分別・減量に関心を持ってもらうため、くさつエコスタイルプラザを拠点

に3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:資源化)の推進等に関連する啓発や講座等を実施するとともに、クリーンセンターの見学を積極的に受け入れています。

#### (14) ごみ問題を考える草津市民会議との連携

ごみ問題を考える草津市民会議との連携を強化し、市民・事業者・行政が一体となり、ごみの減量やリサイクルの推進等に取り組んでいます。

#### 5 指定ごみ袋、処理料金等

## (1) 指定ごみ袋

#### ① 焼却ごみ類用ごみ袋の規格

(容量) 450、300、150

(材質) 高密度ポリエチレン (乳白色半透明)

(規格) 450:厚さ0.03mm、縦800mm×横660mm (ガゼット折両側計220mmを含む)

3 0 0 : 厚さ 0.03mm、縦 700mm×横 600mm(ガゼット折両側計 170mm を含む) 1 5 0 : 厚さ 0.03mm、縦 580mm×横 460mm(ガゼット折両側計 160mm を含む)

## ② プラスチック製容器類用、ペットボトル類用ごみ袋の規格

(容量) 601

(材質) 低密度ポリエチレン (無色透明)

(規格) 厚さ 0.03mm、縦 950mm×横 700mm (ガゼット折両側計 250mm を含む)

#### ③ 指定ごみ袋引換券の配付および指定ごみ袋の販売方法

(配付方法) 町内会等を通じて配付

(配付時期) 每年9月(1年分配付)

(指定ごみ袋引換券配付枚数)

プラスチック製容器類用およびペットボトル類用合わせて1世帯につき40枚分/年 (指定ごみ袋引換券交換場所・指定ごみ袋販売場所)

市役所、地域まちづくりセンター、市内各小売店舗

#### (販売金額)

種類	容量	金額(税込)
	450	10枚150円
焼却ごみ類用	300	10枚100円
	150	10枚50円
プラスチック製容器類用	60l	無料分を超過した場合、
ペットボトル類用	60l	10枚150円

#### (2) ごみ処理手数料

	区分	手数料(税込)
一般廃棄物	1回の搬入量が200kg 未満のとき	110円/10kg
/LX/ <del>JLX</del> Y/	1回の搬入量が200kg 以上のとき	210円/10kg

#### (3) 粗大ごみ処理手数料

#### ① 手数料

主な品目	処分手数料(税込)
ベッド(2段ベッドは2点扱い)、スプリングマットレス、 ベビーベッド、大型の家具類等 処理が困難なもの	1,500円/点
ふとん(3枚単位)、じゅうたん、掃除機、扇風機、 ストーブ、ガスコンロ、自転車等 処理が容易なもの	800円/点

手数料は、粗大ごみ定期戸別収集の場合は、粗大ごみ処理券兼リサイクル機器収集運搬券購入時に支払い、クリーンセンターへの自己搬入の場合は、クリーンセンターで重量に応じた料金を支払う。

#### ② 粗大ごみ処理券兼リサイクル機器収集運搬券販売場所

市役所、地域まちづくりセンター、市内各小売店舗

#### (4)家電4品目収集運搬手数料

#### (リサイクル料金は別途必要)

品目名	収集運搬手数料(税込)
電気冷蔵庫・電気冷凍庫	5,500円/台
ユニット型エアコンディショナー	3,700円/台
テレビジョン受信機	2,100円/台
電気洗濯機・衣類乾燥機	3,400円/台

収集運搬手数料は、「粗大ごみ処理券兼リサイクル機器収集運搬券」購入時に支払います。 ただし、当該手数料は、申込者宅から指定引取場所までの収集運搬料金であり、再商品化等 料金(リサイクル料金)は含まれていないので、法律に基づく再商品化等料金(リサイクル 料金)を別に支払う必要があります。

#### 6 環境美化推進対策

#### (1) 不法投棄ごみ対策

市内での不法投棄が、地域の美観を損ない、環境への悪化をもたらしていることから、町内会等と行政が協力し、対策にあたっています。平成10年度から、不法投棄相大ごみ回収業務を業者に委託し、定期的なパトロールと速やかな回収に努めています。

また、地域住民に、公共スペースの不法投棄監視活動をしていただいています。

平成21年度からは、市の専従パトロール員が、市内の道路や河川をはじめとする公共スペースを中心に巡回するパトロールを実施し、不法投棄の防止および地域の環境の保全に努めています。

#### 〇主な事業

(啓発・点検) 地域住民による不法投棄監視活動、市専従職員によるパトロールの実施

(啓発) 不法投棄防止看板設置

(その他) 南部環境事務所管内に地域ごみ対策会議を設置(県組織) 不法投棄物回収の実施

#### (2) 散在性ごみ対策

市内散在性ごみ一斉清掃や、平成12年4月1日に施行された「草津市ポイ捨て防止に関

する条例」において設定した市民行動の日において、ごみ問題を考える草津市民会議とともに、清掃および啓発活動を行うなど、散在性ごみの発生防止に向けた取組を推進しています。

#### 〇主な事業

(啓発) 市内散在性ごみ一斉清掃、ポイ捨て防止市民行動の日など (その他) ボランティア清掃活動支援など

#### (3) ごみ集積所整備事業に対する補助

平成8年度から、町内会が維持管理するごみ集積所を一定の基準により改修、移設または 新設した場合、実施する町内会に対し補助を行うものです。

年 度	町内会数	補助件数	補助金額
平成 25 年度	15町内会	16箇所	768, 250 円
平成26年度	8町内会	10箇所	469,000円
平成 27 年度	12町内会	16箇所	701, 422 円
平成 28 年度	15町内会	21箇所	976, 486 円
平成 29 年度	9町内会	14箇所	557,800円
平成30年度	2 3 町内会	29箇所	1,644,847円
令和元年度	15町内会	16箇所	1, 222, 500 円
令和2年度	9町内会	15箇所	1, 232, 487 円
令和3年度	15町内会	3 6 箇所	2, 146, 053 円
令和4年度	18町内会	26箇所	1,865,784円
令和5年度	1 4 町内会	3 3 箇所	1,421,393 円

## 7 ごみ処理予算

令和6年度当初予算額 ※人件費除く

(単位:千円)

清掃行政全体予算額	1, 514, 727
○ 環境衛生推進費(環)	4, 037
○ 清掃事業推進費(資)	50, 874
○ 最終処分場整備費(資)	6, 212
○ 湖南広域行政組合負担金(資)	72, 720
○ ごみ収集費(資・環)	652, 762
○ ごみ減量化対策推進費(資)	19, 197
○ クリーンセンター管理運営事業費(資)	708, 925

(資) 資源循環推進課 (環) 環境政策課

#### 8 ごみ処理施設

#### (1) 草津市立クリーンセンター

草津市の一般廃棄物の中間処理施設として、昭和52年から供用を続けてきたクリーンセンターは、約40年にわたって稼働してきましたが、老朽化により平成27年度から新クリーンセンターの更新整備工事をスタートし、平成30年3月16日から供用を開始しました。

施設名	形 式	能力	備考
ごみ焼却処理施設	ストーカ方式	127t/日	平成30年3月新設
プラスチック圧縮梱包処理施設	油圧プレス方式	9t/5h	平成17年3月新設
粗大ごみ・破砕ごみ処理施設	破砕・選別方式	4.5t/5h	平成30年3月新設
ペットボトル圧縮梱包処理施設	油圧プレス方式	1.5t/5h	平成30年3月新設
びん類選別ライン	ライン方式	4t/5h	平成30年3月新設
陶器・ガラス類選別ライン	ライン方式	3.8t/5h	平成30年3月新設

#### (2) 草津市処分場

草津市の廃棄物の処分場として設置しておりましたが、現在は廃止され、処分場跡地として令和2年11月24日に指定されています。

施設名	住所	埋立面積
草津市処分場	草津市御倉町110番地	16,374 m²

現在は、焼却灰やリサイクルできない廃棄物をクリーンセンターで埋立に適した状態に処理して、大阪湾の最終処分場に搬出しています。

#### 9 ごみ問題を考える草津市民会議

市民生活に密着したごみ問題について、各学区地区の代表をはじめ多くの市民の参画を得て、 ごみの減量とリサイクル等を進めるため、平成2年10月に発足しました。

(構成) 各学区地区代表者、各種団体の代表者、事業者、一般公募市民等で構成

(組 織) 会長(1名)・副会長(2名)・監事(2名)

○部 会・・3 R推進部会、地域環境部会、段ボールコンポスト部会

(活動内容) 令和5年度実績・・・ごみ問題を考えるセミナーの開催(11月、1月)、 エコライフフェア草津2023(10月)、市内散在性ごみ一斉清掃(11月)、 広報誌「ごみジャーナル」(年1回)、

その他市民への啓発等

(事務局) 資源循環推進課内

## 10 ごみ減量、リサイクル実績

## (1)資源回収の実績

(単位:	t)
√+□・	٠,

	資源回収の実績					
年度	実施団体数	段ボール	新聞	雑誌	繊維類	合計
	天旭山中教   	(a)	(b)	(c)	(d)	(a+b+c+d)
平成25年度	201	1,080	2, 403	830	238	4, 551
平成26年度	200	1, 087	2, 251	799	229	4, 366
平成27年度	195	1, 027	2, 099	782	238	4, 146
平成28年度	197	808	1, 968	785	213	3, 774
平成 29 年度	202	802	1, 806	766	219	3, 593
平成30年度	195	785	1, 675	728	213	3, 401
令和元年度	194	759	1, 492	737	209	3, 197
令和2年度	195	727	1, 092	684	83	2, 586
令和3年度	185	695	1, 026	613	132	2, 466
令和4年度	178	586	893	541	118	2, 138
令和5年度	176	558	785	547	124	2,014

## (2) 生ごみ処理容器購入費補助実績

左曲	生ご	み処理容器購入費補助実績
年度	補助件数	補助金合計
平成25年度	38件	340, 400 円
平成26年度	37件	389, 700 円
平成27年度	33件	363, 100 円
平成28年度	19件	218, 600 円
平成 29 年度	30件	346, 200 円
平成30年度	28 件	306, 400 円
令和元年度	25 件	274, 100 円
令和2年度	26 件	314, 800 円
令和3年度	56 件	611,600 円
令和4年度	55 件	565, 700 円
令和5年度	192 件	4, 371, 600 円

## (3) 段ボールコンポストの販売実績

左连	段ボールコンポスト販売実績			
年度	販売個数	売上合計		
平成 27 年度	82 個	41,000円		
平成 28 年度	147 個	73, 500 円		
平成29年度	160 個	80,000円		
平成30年度	100 個	50,000円		
令和元年度	55 個	27, 500 円		
令和2年度	86 個	43,000円		
令和3年度	121 個	60, 500 円		
令和4年度	123 個	61,500円		
令和5年度	99 個	49, 500 円		

## 11 クリーンセンター年間報告

#### (1) ごみ搬入量

令和5年度にクリーンセンターへ搬入された総ごみ量は37,110.06tで、令和4年度の38,182.42tと比較すると、2.81%(1,072.36t)の減となりました。

内訳を見ると、家庭系ごみは 3.46%(876.93t)の減、事業系ごみは 1.53%(195.43t)の減でした。前年度と比較してごみ量が大きく増・減となったごみ種は、古紙類が 119.98t の増となり、焼却ごみ類が 1,159.33t と大きく減となりました。古紙類が増となった要因は、令和5年10月1日から回収日を月1回から2回に増やしたことにより、古紙類がごみとして出しやすくなったことによるものと考えられます。また、焼却ごみ類の減については、円安に伴う物価高騰により個人消費が落ち込んだことなど複数の要因が考えられます。事業系のごみ量は令和4年度と比較すると、1.53%(195.43t)の減となりました。これは、令和5年4月1日からの搬入手数料の改定や、排出事業者に対する減量指導を行った結果、排出量が抑えられたものと考えられます。

		令和5年度	令和4年度	対前年度比
年	総ごみ量	37, 110. 06 t	38, 182. 42 t	<b>▲</b> 2. 81%
十   間	家庭系	24, 496. 12 t	25, 373. 05 t	<b>▲</b> 3. 46%
[F]	事業系	12, 613. 94 t	12, 809. 37 t	<b>▲</b> 1. 53%

(ごみ種別ごみ量の内訳は別紙1参照)

#### (2) ごみの資源化

令和5年度のごみの資源化率は17.9%となりました。

#### 【ごみ資源化率】

	令和5年度	令和4年度
資源化率	17.9%	17.3%

(詳細は別紙2参照)

#### (3) ごみ処理フロー(ごみ処理の流れ)

令和5年度のごみ処理フロー図は、別紙3に示すとおりです。

#### (4) 発電実績

令和5年度における焼却炉その他の各種発電実績および売電料金等は次のとおりです。

#### ○ごみ焼却炉による発電量等

ſ	発電量	売電量	買電量	クリーシセンター	ごみ焼却量	売電料金
	(焼却炉)	(関西電力)	(関西電力)	消費電力量	t	(関西電力他)
	kWh	kWh	kWh	k₩h		円
	19, 472, 440	13, 551, 385	109, 566	6, 044, 459	33, 010	168, 316, 218

<sup>※</sup>ごみ焼却量1トン当たりの発電量(590kWh/t)、売電料金(5,099円/t)

#### ○その他の発電量(売電対象外)

太陽光発電量	ガスエンジン発電量	
kWh	kWh	
12, 008	1, 830	

## (5) 環境管理

## 1)排ガス測定結果(年平均)

	単位	基準値 (法)	自主 <b>基準値</b>	令和5年度	令和4年度
ばいじん	g∕Nm³	0.08 以下	0.02以下	0.002	0.003
硫黄酸化物	(SO <sub>x</sub> ) K値	8.76以下	0.2以下	0. 017	0. 011
窒素酸化物	(NO <sub>X</sub> ) ppm	250 以下	80 以下	42	42
塩化水素	(HCL) mg/Nm³	700 以下	130 以下	9. 1	8. 5
水銀	$\mu\mathrm{g/Nm^3}$	50 以下	50 以下	0.3 未満	0.3 未満

## 2) ダイオキシン類の分析結果

## 【排ガス中のダイオキシン類分析結果】

	単位	基準値 (法)	自主基準値	1 号炉	2 号炉
令和5年度	TEO /N3	1	0.1	0. 00033	0.00072
令和4年度	ng-TEQ/N m³	1	0.1	0. 000051 <b>※</b> 0. 00013	0. 000017

※滋賀県南部環境事務所 立入調査結果

## 【焼却灰中のダイオキシン類分析結果】

	単位	基準値(法)	1 号炉	2 号炉
令和5年度	TEO /N3	0	0. 0037	0
令和4年度	ng-TEQ/N m³	3	0. 0026	0. 000070

## 【飛灰中のダイオキシン類分析結果】

	単位	基準値(法)	飛灰
令和5年度			0. 14
			0. 19
	ng-TEQ/N m³		1.3
			0. 24
		3	0.11 💥
		3	0. 19
			0. 24
令和4年度			0.12 💥
			0. 11
			0. 18

※滋賀県南部環境事務所 立入調査結果

◆令和5年度ごみ搬入量 (単位:t)

クリーンセンターへ搬入された総ごみ量

37,110.06

【内訳】

#### 1 家庭系ごみ

ごみ種	処理方式	委託搬入	持込搬入	合 計	搬入日数	日平均搬入量	ごみ量割合
焼却ごみ類	焼却	18,871.26	184.06	19,055.32	322	59.18	77.79%
プラスチック製容器類	資源化	1,024.41	0.04	1,024.45	262	3.91	4.18%
ペットボトル類	資源化	333.88	0.17	334.05	233	1.43	1.36%
空き缶類	資源化	228.03	0.71	228.74	208	1.10	0.93%
飲・食料用ガラスびん類	資源化	668.30	0.54	668.84	241	2.78	2.73%
破砕ごみ類	破砕	553.89	19.72	573.61	301	1.91	2.34%
陶器・ガラス類	埋立	249.04	9.88	258.92	167	1.55	1.06%
新聞•広告	資源化	154.70	0.00	154.70	60	2.58	0.63%
雑誌·雑紙※	資源化	646.12	2.67	648.79	199	3.26	2.65%
段ボール	資源化	548.35	1.36	549.71	229	2.40	2.24%
乾電池	資源化	26.03	0.00	26.03	52	0.50	0.11%
蛍光管	資源化	7.95	0.00	7.95	104	0.08	0.03%
粗大ごみ	破砕	273.47	691.54	965.01	311	3.10	3.94%
家庭系 合計	_	23,585.43	910.69	24,496.12	_	83.78	100%

#### 2 事業系ごみ

※雑誌・雑紙には、10月から新聞・広告も含んでいる。

ごみ種	処理方式	許可業者搬入	持込搬入	合計	搬入日数	日平均搬入量
焼却ごみ	焼却	11,925.10	688.81	12,613.91	310	40.69
粗大ごみ	破砕	_	0.03	0.03	1	0.03

事業系 総計 12,613.94

### ◆焼却処理するごみ量および最終処分量 (単位:t)

1 焼却処理するごみ量

31,669.23

2 最終処分量(フェニックス、他 埋立量)

(単位:t)

			·     - · · /				
	種類	重量	種 類	重量	種類	重量	減量率%
フェニックス	灰(焼却灰) 2,554		灰(飛灰)	1,051	不燃物(混ガラ)	287	1-埋立量/ごみ量
その他	処理困難物·他	1.01					89.51
最終処分量合計		3,893.01					

◆資源化量

(単位 : t )

※10月から新聞・広告を含む

	(年世・ビ)						
種類		内		訳		合 計	
金属	スチール	アルミ	くず鉄	電線	空き缶	586.64	
立 偶	28.18	3.86	304.28	2.92	247.40	380.04	
び ん 類	透明	茶色	その他(青・黒)			638.77	
ひん類	314.71	176.03	148.03			038.//	
容リプラスチック、 ペットボトル、	容リプラスチック	ペットボトル	乾 電 池	蛍 光 管		1 210 40	
乾電池、蛍光管	975.08	310.63	26.83	6.94		1,319.48	
<b>→</b> 4π	新聞·広告	雑誌・雑紙※	段ボール		センターからの	1.050.00	
古紙	154.70	648.79	549.71		搬出分含む	1,353.20	
小型家電・	小型家電 (制度対象品目)	小型家電 (制度対象品目・フロン入り)		特定家電 (家電4品目)		151.55	
特定家電	148.73	1.60		1.22		151.55	
bn 180 E21 ## ##~	再資源					0.00	
処理困難物	0.06					0.06	
	再資源化量合計	4,049.70 <sup>ト</sup> >	再資源化	☎%(再資源化量	量/ごみ量)	10.91%	

#### 年度別 ごみ資源化率、資源化量

#### ●ごみ資源化率

(単位:t)

						\ <del>+                                     </del>		
年度	ごみ搬入量 a	町内会等 資源回収量 b	市外ごみ 搬出量 c	市内刈草 (水資) 堆肥化量 d	ごみ 発生量 e=a+b+c+d	資源化量 合計 g	資源化率 (%) g/e	
H25	38,795	4,551	0	0	43,346	8,441	19.5	
H26	38,210	4,366	0	0	42,576	8,175	19.2	
H27	37,873	4,146	0	0	42,019	8,027	19.1	
H28	37,342	3,774	1,742	0	42,858	8,674	20.2	
H29	37,702	3,593	1,628	0	42,923	8,288	19.3	
H30	38,628	3,401	1,212	74	43,315	8,301	19.2	
R1	39,128	3,197	1,176	136	43,637	8,329	19.1	
R2	38,744	2,586	1,092	88	42,510	7,962	18.7	
R3	38,620	2,466	1,055	70	42,211	7,714	18.3	
R4	38,182	2,138	1,047	31	41,398	7,157	17.3	
R5	37,110	2,014	1,076	77	40,277	7,211	17.9	

#### ●資源化量

(単位:t)

年度	金属	びん	プラスチック	ペットボトル	電池 蛍光管	破砕不燃等	古紙	小型家電 ・特定家電	処理困難物	町内会等 資源回収	市外 資源化	刈草 堆肥化	粗大ごみ(家具類)	合計
H25	451	785	1,000	270	34	13	1,337	0	0	4,551	0	0	0	8,441
H26	485	768	959	256	32	12	1,297	0	0	4,366	0	0	0	8,175
H27	530	807	947	250	35	0	1,312	0	0	4,146	0	0	0	8,027
H28	517	758	904	255	31	0	1,260	0	0	3,774	1,175	0	0	8,674
H29	518	743	891	247	30	0	1,157	0	0	3,593	1,109	0	0	8,288
H30	610	608	928	245	36	0	1,116	119	0	3,401	1,163	74	1.0	8,301
R1	699	661	931	276	35	0	1,087	137	0	3,197	1,169	136	1.2	8,329
R2	789	716	1,004	288	37	0	1,226	141	0	2,586	1,086	88	0.6	7,962
R3	701	706	1,001	303	34	0	1,253	131	0.6	2,466	1,049	70	0.4	7,714
R4	597	665	969	322	37	0	1,233	122	0.4	2,138	1,041	31	0.5	7,157
R5	587	639	975	311	34	0	1,353	152	0.1	2,014	1,070	77	0.2	7,211

注)ごみ資源化率、資源化量ともに四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

- ※古紙は、平成23年10月から行政回収を実施しています。
- ※破砕不燃(硬質プラスチック)のリサイクルは平成26年度末で終了しています。
- ※平成30年度から、市内で水資源機構が実施している刈草の堆肥化量とクリーンセンターに搬入された粗大ごみのうちリサイクルした家具類の量を含め、 また、小型家電のリサイクルを開始しています。
- ※処理困難物は、廃タイヤ、消火器、小型二次電池等です。

#### **令和5年度 草津市立クリーンセンターごみ処理の流れ(ごみ処理フロー)** 焼却残渣 3.605 t クリーンセンター ごみ搬入量 (内訳) センター搬出分 焼却ごみ類 燒却灰 2,554 t、飛灰 1,051 t 31, 669 t 《ごみ焼却処理施設》 家庭系:19,055.32 t 127 t /日 事業系: 12.613.91 t 資源化 破砕ごみ類 574t 1,028t ※ (焼却) 家庭系:573.61 t 金属類 小型家電 339t 152t 《破砕ごみ処理施設》 4.5 t / 5 h粗大ごみ 家庭系:965.01 t 965t 不燃物 事業系: 0.03 t 20t × 1 処理せずリサイクル業者に譲渡 空き缶類 229 t 資源化 家庭系:228.74 t 空き缶類 18t ※3 《プラスチック圧縮梱包処理施設》 247 t 1,024 t $9.0 \, t / 5 \, h$ プラスチック製容器類 容リプラ類 その他のごみ 51t ※ (焼却) 家庭系: 1,024.45 t 975 t 14t×3 ▶ 12t ストックヤード※² ペット 《ペットボトル圧縮梱包処理施設》 334 t ボトル類 ペットボトル類 $1.5 \, t / 5 \, h$ 311 t 家庭系:334.05 t その他のごみ 22t ※ (焼却) 0t:×3 びん類 1tストックヤード※2 639 t 飲・食料用ガラスびん類 669 t 《びん類選別 4.0t/5h》 家庭系:668.84 t その他のごみ 5t ※(焼却) 16t×3 不燃物 びん屑等 31tストックヤード※2 10 t ※1 287t 陶器・ガラス類 《陶器・ガラス選別》 259 t 陶器・ガラス類 家庭系: 258.92 t 3.8 t /5h 257t\* 最終処分量(埋立) その他のごみ 1t ※(焼却) 0t ※3 (大阪湾フェニックス) 3,892 t 0tストックヤード※2 乾雷池 27t 家庭系: 26.03 t 処理困難物 資源化 1t(市外埋立) 1t:X3 2,663t 蛍光管 資源化 家庭系: 7.95 t 1,387t 7 t クリーンセンター施設内資源化量 古紙類 4.050t 1,353 t 家庭系: 1,353.20 t (4, 049. 70t) 処理困難物 ごみ搬入量合計

※1各処理施設から発生する異物等の量。

※2年度替り引継に伴う保管分

※3前年度保管分

分別後、各施設で再処理 (ほとんどが焼却)

資源化 0.06t

37, 110t

(37, 110, 06t)